

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

タイトル 夏季のきのこ単価低迷期における特別運転資金の対応

J A 名 北信州みゆき

1 動機 (経緯)	例年、夏季にきのこ単価が低迷する中、きのこ生産者への資金繰り支援が課題となっていた。 「きのこ特別運転資金貸出要項」を制定し運転資金に困窮するきのこ生産者に対し低利の運転資金を融通しきのこ生産の安定と資金繰りの支援をしている。
2 概要	貸出先 J A に取引実績があるきのこ生産者。 資金用途 きのこ経営の維持に必要な運転資金。 貸出利率 末端金利 0. 3 % (J A 特別会計より利子補給を行う) 貸出期間 貸出日から翌年 3 月末日までの間 貸出形式 手形貸付金 (利息後取) 貸出限度 前年 (9 月 ~ 1 2 月) の出荷実績の 7 0 % 以内に 1 0 0 g あたり 8 円を乗じた額を限度とする。 償還方法 期日一括返済 借入者の償還財源は、10 月から翌年 3 月までの間のきのこ清算時に 1 0 0 g あたり 5 円を償還期日まで別途控除し、償還期日の元金、利息に充てる。
3 成果 (効果)	夏場に費用が嵩む電気代や資材代金の支払いを安定して行う事が出来る。 返済財源を J A からのきのこ代金精算時に自動的に積立てることで生産者が返済財源を確保する負担を減らし、確実な返済を見込むことが出来る。 平成 2 5 年度は貸付先 7 件、貸付金額 2, 2 2 5 万円の実績がありました。
4 今後の 予定 (課題)	きのこ単価の予想以上の下落により、資金繰りが更に難しくなっている生産者もあり、運転資金の確保と共に経営の改善が必要となって来ている。